

な が し ま あ き ひ さ

長島昭久



＜経歴＞

防衛副大臣
内閣總理大臣補佐官
防衛大臣政務官 等歴任

- 1962年2月17日生まれ
 - 53歳、A型
 - 横浜出身

学生時代の部活 - 応援部

趣味 - 水泳、スケート観戦

司馬遼太郎 水彩画

苦手なもの - へび (爬虫類)

ジットコースター

尊敬する人物はたくさんいます。その中の一人が坂本龍馬です。坂本龍馬は当時において流行していした土佐においで、接近戦で長い間に立ち回りのしやすいう短刀の優位性に気が付きました。周りが短刀を持ち始めた頃には拳銃を、さらには万国公法（國法）をと常に先見性を持つていいましまし

記者 代議士の尊敬する人物は誰ですか？

長島さん
てとにき名えこ的をでにあります
いいあももはとな行すがり、ます
まうらのい幕な欲つがり、ます
す教ざはら末い望て、ます
えれなはずによでいます
にばし、活うあます
影響官躍に自位ししにから
國家かもたら西を名譽や政治に重きを置い
されれ金西を名譽や政治に重きを置い
大業も郷戒めを志した時かて政治活大場
私業を盛て・權力を志した時かて政治活大場
の座も望まぬのいます
右の計るべ御ほ命も囚わ人間動事場
の銘かしきしらの者難ず考る
にもくらす
な。者難ず考る

記者 代議士はどのような信条を軸に政治活動を行っているのですか?

衆議院議員5期目にして民主党「次の内閣」外務大臣に就任した長島昭久氏。長島氏は一體どのような志を持つて政治活動を行つて、何を目指しているのか。また昨今政治離れが叫ばれている若者やそれに伴う社会問題にどう向き合つていくのか、話を聞いた。

**記者
か?**若者の政治離れにつじむく希望にあす

長島さん 学生は普段、家庭や学校などの狭い世界です。でも、社会と接する機会をもつて、広い世界を見て、将来の役に立てるよう、自分から進んで行動する気持ちが大切です。

記者 代議士はなぜ「イノターン」生を受け入れているのですか?

長島さん 政治家としてのロールモデルは中曾根康弘さんです。中曾根元首相の言動は世界中で注目され、イギリスのサッチャーワーク相がソ連の人物の中一人に数えられます。特に首相とし、米国の大統領と共に冷戦を終結させた人物の一人です。特に首相として、米英首脳を対抗して西側も同様にミサイルを配備すべきだとする米英首脳を構成する「LAST PRIME MINISTER」と呼ばれることがあります。西側結束をアピール。冷戦終結へ道筋をつけることに大きく貢献し、中曾根首相は「LAST PRIME MINISTER」と呼ばれました。

記者 現代の若者に、何か人生における「バイスをお願いします。

記者 代議士は今後どのような政策を打ち出したいと考えていますか？



記者 どうすれば若者が政治に興味を持つようになるでしょうか？

長島さん 記者 現代の若い政治家に対して何を願いますか？

長島さん 今後は「未来の軸」で政策を考えたいと思います。政府は現在の価値に焦点を置いて政策を進めます。景気回復のための公共事業や高齢者の福祉政策が要ですが、私はこれから野党として少子化雇用・エネルギーといった未来につながる現代の問題に取り組んでいきます。例えば能子ども手当や高校無償化、原発から差異も手当や高校無償化、原発から現れ工エネルギーへの転換などです。現代の職格差はますます広がり、子育てどこに繋がる今、これらの問題をどうにかしないと日本はあります。

長島さん この分野は誰にも負けないといふ分野を持つてほしい。「世のため人のため」といった抽象的な目標では動機としては不十分ではないでしょうか。自分専門の分野で実現したい政策を持つて、政治活動を行ってほしいです。税金を預かって仕事をする立場ということをしつかり自覚して欲しいものです。

3つ目の「信仰心」は何に対する信仰でも構いません。信仰心を持つて、何かを畏れる意識を持つことが大切です。畏敬の念は自らを制御する戒めになるからです。

長島さん 投票年齢を十八歳に下げるには、良い影響が期待できます。これからは投票に繋がる社会科の授業はフィールドワークとして地元の市議会議員と直接話し合う機会が設けられるなど、高校生のうちから政治に関心を持つ姿勢が期待されますね。

また、インターネットを使った若者とのコミュニケーションも大切です。ご年配の方は従来のビラ配りや支援者訪問等の方法で政治参加をしてくださっています。それには加えて多角的な現代のツールを導入し、若い層を開拓する努力が必要です。





長島さん 好奇心を持つない若者は「偉人」を口一ルモodelにする。それを読み取つてください。偉人に学ぶことは多く、偉人の考え方や教えに従つたり、眞似てみたりする。これで人間として大きく成長できると思います。

「ドラマ、ドキュメンタリーでも良い」と思ひます。私がお薦めする映画は洋画だと「アントン・チャブル」「ベン・ハーリー」「アラビアのロレンス」「12人の怒れる男たち」などがあります。邦画が好きな方には「日曜日」や「悪い奴」をお薦めします。

本のいいちばん長い日」や「悪い奴ほど良く眠る」をおすすめします。

長島さん 何事においても、縦軸を基点に物事を考
えます。必ず中軸で世界観、縦軸が歴史で、横軸を基点は現場にな
る。私は政策を作の上での世界観を意識して、歴史から学
ぶ。常に現場を重視しいて、この3つの軸で物事を考
えます。この3つを組み合わせて、世界を理解する。これ
が得られるところにより、点考か軸を組み合わせて、世界を理解する。
必ず中軸で世界観、縦軸が歴史で、横軸を基点は現場にな
る。私は政策を作の上での世界観を意識して、歴史から学
ぶ。常に現場を重視しいて、この3つを組み合わせて、世界を理解する。これ
が得られるところにより、点考か軸を組み合わせて、世界を理解する。

(文責 村橋龍之介)

長島さん そのロールモデルに自己を似せるしかないですね。また、目標を高い位置に設定することも大切です。目標は大きく、しかし誠実な姿勢で努力を重ねることが偉人になるための第一歩ではないでしょうか。

記者 す。是非、鑑賞してみたいで
しょ。口一ルモテルの偉人のよいで
にしるためにはどうすればよいで
でしょうか?

「大地の子」という中国残留孤児のドラマも面白いですよ。偉人の本やこれらの映画・ドラマから「魂をゆさぶられる何か」が発見できるかも知れません。

～インターン生活の感想～

石野一克

渡辺千絵

村橋龍之介

今回のインターンを通して、私は議員と秘書の仕事での役割の違いを納得することができました。秘書は、ただ代議士の日々の仕事をサポートするだけでなく、地元事務所では常に次の選挙を意識して活動する役割があることが分かりました。一見すると、地元事務所の仕事は、ただ次の選挙で当選するための活動のように見えてしまうので、あたかも利己的に見えますが、そうではなく、地元での秘書の活動を通すことによって、多くの国民の生の声を伺うことができることも、非常に大切なことだと分かりました。

インターン活動を通して、どのようにしたら若者層投票率が向上するのか考えてきました。その中で分かったことは、もっと私たちは将来についてきちんと考えなければならぬのではないかということです。

つい、自分が投票に行かなくても何も変わらないと思つてしまったり、何かを理由にして行けなくともしようがないと思つてしまったり、どこか政治に対して無責任な部分があると思います。与えられた権利をただ持て余しているこの状態に甘んじずに、成人として自覚を持たなければならぬと感じました。

長島事務所では社会人としてのマナーから政治のことまで、ありとあらゆることを勉強させていただきました。お宅訪問やタウンミーティング等の政治に関わるさまざまな活動をさせていただきました。時には「あしながレインボーハウス」「いのちのミュージアム」「国会」「防衛省」などを見学したり、本会議や予算委員会を傍聴したりするなどの貴重な体験をさせていただきました。また、活動の中で様々な問題を感じ・考え普段の生活の中でも自分で物事を考える習慣が身につきました。今後は社会問題に向き合って、日本の未来を考えていけるような大人になりたいと思います。